

宇宙飛行士 若田光一さん 埼玉150周年記念メッセージ動画

埼玉県のみなさん、こんにちは。JAXA宇宙飛行士の若田光一です。

埼玉150周年おめでとうございます。

今回、5度目の宇宙飛行、そして4度目の国際宇宙ステーション(ISS)への長期滞在を任命いただきました。

私は、大宮市、今のさいたま市で生まれ育ちました。子供の頃は、魚釣りやザリガニ釣りをしたり、カブトムシやバッタを捕まえたり、外に出て友達と遊ぶことが多かったですね。自然に親しめる素晴らしい故郷の環境に育んでいただいたと思います。

私は、5歳の頃、アポロ11号が月面に着陸するのを見て、宇宙への憧れを持ちました。と同時に幼いころから航空機に強い興味を持っていました。当時、日本人の宇宙飛行士はいませんでしたので、幼心にも日本人にとって、宇宙に行くのは困難だと思っていたようですが、飛行機を作ったり、飛ばしたりする仕事をどうしてもしてみたいという明確な目標を持って、小学校から高校まで勉強し、大学では航空工学を専攻し、念願かなって航空会社の技術者としての仕事に就くことができました。

転職は新聞で、偶然見つけた当時の宇宙開発事業団、現在の宇宙航空研究開発機構(JAXA)の宇宙飛行士募集の記事です。記事を見て、小さい頃の宇宙飛行への憧れがよみがえりました。世界の人達みんなに貢献できる宇宙飛行士の仕事に挑戦してみたいと思い、募集に応募し、約9か月間の選抜試験の後、幸運にも、この仕事に就くことができました。

皆さんにお伝えしたいことがあります。それは「皆さん一人ひとりが、それぞれ誰にも負けないような素晴らしい力を持っている」ということです。その自分の持つ力に気付いていない方も多いかもしれません。自分は一体どういう人間なのか、何をしたいのか、どんなことに興味を抱いているかをしっかり意識し、自分を発見してください。そして、夢、そこから生まれる明確な目標を定め、それに向かって前に進んでほしいと思います。私もたくさん失敗をしましたが、振り返ってみると、失敗して、それを乗り越えようと試行錯誤しながら努力している時が、自分が最も成長している時だと分かります。失敗しても決して諦めず、失敗を教訓として前進し、皆さんの夢をつかんでください。

私が宇宙へ出発する予定の2022年、埼玉県は151年目の新たな出発の時を迎えます。これからの埼玉県は、皆さん一人一人が持つ、それぞれの素敵なカラーで彩られていくと思います。私もISSでのミッションに向けて努力したいと思います。ぜひ皆さんもご自身の目標に向かって頑張ってください。そしてみんなの力で、10年後も、20年後も魅力あふれる埼玉県になるよう、盛り上げていきましょう！